

# 知っていますか水産普及情報

## 宗谷地区

水産技術  
普及指導所  
【礼文支所】

### ◆写真で見える普及指導所の活動 青年部マナマコ人工種苗生産への 支援について

(342)

礼文島は、約300種類の高山植物が低地から見られる「花の浮島」として有名で、稚内市の西方約六十キロメートルの日本海に浮かぶ離島です。南北に長い礼文島には、南に位置する香深漁協と北に位置する船泊漁協があります。礼文支所では、一町二漁協を担当して沿岸漁業の振興と発展を目指して普及活動



▲事前打合せ



▲採卵作業の様子

を行っており、今回はマナマコの人工種苗生産に取り組み両漁協青年部への技術指導について紹介します。

マナマコは桁曳網漁業のほか、組合員の約8割が着業するたも網漁業によって漁獲され、礼文町の漁獲金額ではホッケ、エゾバフンウニに次いで三番目に多い重要な魚種になっています。近年は、漁

獲量が増加したため資源への影響を懸念する声が多く、漁業者から聞かれるようになりました。このような中で、香深漁協では令和元年から、船泊漁協では令和二年からそれぞれの青年部がマナマコの人工種苗生産・放流を開始しました。開始当初は、使用機材一覧の作成や青年部が無理なく幼生の飼育管理が行なえる体制の構築などについて助言し、青年部の採苗計画作成を支援しました。一連の採苗工程では、親マナマコの確保、成熟度の把握、採卵・採精の手順、幼生の飼育管理について助言や指導を行うとともに、顕微鏡に接続したモニター上で幼生観察を行い、形状の変化などを説明して青年部の理解が深まるように工夫しています。また、幼生の着底期に



▲精卵の計数

は、タマネギネットを使用した採苗器を水槽に投入して付着させた後、その採苗器を漁場に沈設して自然放流を行っています。

この取り組みは、資源増大に向けて地域漁業者から期待されており、青年部が自ら実施することで資源管理意識の向上にも繋がると思われることから、今後もこの活動が継続できるように支援を続けて



▲採苗器の投入



▲浮遊幼生の観察

いく計画です。当指導所は、これからも地域の取り組みに積極的に関わり、沿岸漁業の安定と発展に向けて普及活動を行っていきます。